

2011年度

科目名	ゼミナールⅠ				
担当教員	井上 徹				
配当	人社3		コード	33071	
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数	4
授業テーマ	心への科学的アプローチ				
目的と概要	人の心への科学的アプローチを理解するとともに、メンバー相互協力による小集団活動を体験することが本授業の目的です。心理学についての基礎・専門文献を読み知識を広げます。新しい応用分野である「臨床社会心理学」についても勉強します。分からないことは聞いてみる、失敗を恐れずまずやってみる。そのなかで卒業研究への基礎を固めます。				
成績評価法	ゼミ発表はもちろんですが、以下の4点を重視して評価します。 1. 専門への努力度 2. 理解への意欲度 3. アルバイトとの差し引き度 4. 将来への期待度				
テキスト	藤本忠明／東正訓編 ワークショップ人間関係の心理学 ナカニシヤ出版 2004				
参考書	坂本真士/佐藤健二編 はじめての臨床社会心理学 ―自己と対人関係から読み解く臨床心理学 有斐閣 2004				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	発表者は、ゼミの時間の前にレジメを作り、発表の練習をしておくこと。 聴取者は、必ず1つ以上の質問をすること。 事前にいろいろな文献で当該の事項について調べ、レジメを作っておくこと。				
講義計画					
[前 期] 1. ゼミナールへのオリエンテーション 2. ゼミ発表 人と人との出会い 3. ゼミ発表 対人魅力の心理学 4. 心理統計法演習（1） 5. ゼミ発表 対人コミュニケーション 6. ゼミ発表 他者からの影響 7. 心理統計法演習（2） 8. ゼミ発表 グループダイナミックス 9. ゼミ発表 攻撃と援助 10. 心理統計法演習（3） 11. ゼミ発表 原因帰属と臨床社会心理学 12. ゼミ発表 自己意識と臨床社会心理学 13. 心理統計法演習（4） 14. ゼミ発表 自己開示と臨床社会心理学 15. 前期のまとめ 夏休みの課題 [後 期] 16. 夏休みの課題成果発表 17. 研究論文要約・発表 1－1 以下の研究雑誌から最新の論文を選択して要約し発表する 18. 研究論文要約・発表 1－2 心理学研究 教育心理学研究 社会心理学研究 19. 心理統計法演習（5） 実験社会心理学研究 20. 研究論文要約・発表 2－1 Journal of Personality and Social Psychology 21. 研究論文要約・発表 2－2 Journal of Social Psychology 22. 心理統計法演習（6） 23. 研究論文要約・発表 3－1 24. 研究論文要約・発表 3－1 25. 心理統計法演習（7） 26. 研究論文要約・発表 4－1 27. 研究論文要約・発表 4－1 28. 卒論に向けて1 各自の関心と収集した資料の発表 29. 卒論に向けて2 々 30. 後期のまとめと卒論に向けて3					